

領収書等添付表(旅費を伴う分)

(平成29年度報告分)

| | | | | | | | | | |
|-------------|------|---|------|--------|----------------|--------|---------|---|------|
| 番号 | | ② - / | | | | | | | |
| 領収書の内容 | | 柏市役所行政視察(予約型相乗りタクシー カシワニクル) (5月18日) 品川区行政視察(認知症高齢者のケア拡充) (5月19日) | | | | | | | |
| 用務地(場所及び住所) | | 千葉県柏市柏5-10-1: 柏市役所 東京都品川区広町2-1-36: 品川区役所 | | | | | | | |
| 宿泊 | | 宿泊地(住所) | | | 宿泊施設名 | | 宿泊料金(円) | | |
| | | 東京都台東区花川戸1-3-4 | | | ドミーインEXPRESS浅草 | | 14,000 | | |
| 発駅 | 着駅 | 料程 | 利用種別 | 運賃 | 急行料金 | | 特別車両料金 | | 座席指定 |
| | | | | | 料 | 円 | 料 | 円 | |
| 大和八木 | 京都 | 55.1 | 近鉄 | 880 | 55.1 | 900 | | | |
| 京都 | 東京 | 513.6 | JR | 8,210 | 513.6 | 5,700 | | | |
| 柏 | 品川 | 39.5 | JR | 640 | | | | | |
| 品川 | 京都 | 506.8 | JR | 8210 | 506.8 | 5,700 | | | |
| 京都 | 大和八木 | 55.1 | 近鉄 | 880 | 55.1 | 900 | | | |
| 合計 | | | | 18,820 | | 13,200 | | | |

【領収書等貼付欄】

- ※宿泊を伴う場合は必ず宿泊料金の領収書を添付してください。
- ※領収書原本の添付が困難な場合はコピー添付の上、その所在を明らかにしてください。

→近鉄特急往復、新幹線往復及び宿泊代の領収書等は次頁以降に有り。
旅費領収書の原本は成谷議員に有り。

なお本行政視察は桜井市議会議員1名と共に行ったため(報告書写真参照) 帰り(品川～京都)の新幹線の領収書のみ5名分となっている。
その他近鉄特急往復及び新幹線行き(京都～東京)は 榎原市議会議員4名分合計の領収書となっている。

政務活動費で計上する金額

46,020

円

領収書等添付表

(平成29年度報告分)

| | |
|-----|---------------------------------------|
| 番号 | ②-1 |
| 項目名 | 研究研修費 調査旅費 資料作成費 資料購入費 広報広聴費 人件費 事務所費 |

【(行き:5月18日)近鉄特急代領収書】

大和八木～京都 900円×4名=3,600円

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|---|---|---|---|---|--|
| 領 収 証 | | 570939 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成 谷 様 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 金額 | <table border="1"> <tr> <td>億</td><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>円</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td><td>3</td><td>6</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table> | 億 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 | | | | | 4 | 3 | 6 | 0 | 0 | |
| 億 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 4 | 3 | 6 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | |
| ただし 特急券代 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収 入 印 紙 | 上記の金額を領収いたしました。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 川本→京都 5/18 特急券 平成29年5月15日 近畿日本鉄道株式会社 8:55 大和八木駅 発行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 取 扱 者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【(行き:5月18日)新幹線領収書】

京都～東京 13,910円×4名=55,640円

| | | |
|---|----------|------------------------|
| 領 収 証 | | 2017年05月15日 |
| 成 谷 文 彦 様 | | |
| 金額 | ¥55,640* | |
| ご旅行代金として | | |
| 5/18 京新→東京 | | |
| 近畿日本ツーリスト個人旅行(株) 近鉄八木駅営業所 TEL 0744-22-6511 | | 担当 0001-201045-9588 |

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合で、按分を必要とする場合は按分率を記載し金額を計算してください。

| | | |
|--------------|-------|---|
| 添付領収書合計 | - | 円 |
| 按分率 | (/) | |
| 政務活動費で計上する金額 | - | 円 |

領収書等添付表

(平成29年度報告分)

| | |
|-----|---|
| 番号 | ②-1 |
| 項目名 | 研究研修費 <u>調査旅費</u> ・資料作成費・資料購入費・広報広聴費・人件費・事務所費 |

【(帰リ:5月19日)新幹線領収書】

品川～京都

13,910円×5名=69,550円

内、1名分(13,910円)は桜井市議会議員分も含むが、対象外である。

| | | | |
|-----------------------------------|-------------------|--------------------|---|
| 領 収 書 | | 成谷 | 様 |
| Receipt | | | |
| 領収年月日 | 2017.5.19 | | |
| 金額 | ¥69,550 | | |
| 上記金額確かに領収いたしました <i>13,910円×5名</i> | | | |
| 購入商品 | JR乗車券類 JR tickets | | |
| (00119 5枚) | | | |
| 東日本旅客鉄道株式会社 | | | |
| 神田駅 | | | |
| 神田駅VF7発行 10120-02 | | | |
| | | 印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済 | |

【(帰リ:5月19日)近鉄特急代領収書】

京都～大和八木

900円×4名=3,600円

| | | |
|--------------------------------|-------------|---------------------|
| 領 収 書 | | No.45501391 |
| Receipt | 檀原市 | 様 |
| 領収年月日 | 2017. 5. 19 | |
| 金額 | ¥3,600- | |
| 上記金額確かに領収いたしました <i>900円×4名</i> | | |
| 購入商品 | 乗車券等 | |
| Tickets | | |
| 近畿日本鉄道株式会社 | | |
| 17- 5-19 18:37:02 京都455 | | |
| | | 印紙税申告納付につき天王寺税務署承認済 |

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合、按分を必要とする場合は按分率を記載し金額を計算してください。

| | | |
|--------------|-------|---|
| 添付領収書合計 | — | 円 |
| 按分率 | (/) | |
| 政務活動費で計上する金額 | — | 円 |

ナリタニ サマ 様

近畿日本ツーリスト個人旅行
近鉄八木駅営業所
〒634-0804
橿原市内膳町5-1-2 近鉄八木駅構内
TEL : 0744-22-6511 FAX : 0744-25-3496

計算書 (お客さま控)

お問合せ番号 24754-13448

毎度お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
ご確認いただきますようお願い申し上げます。

金額 ￥ 55,640

■ のぞみ 122号 普通車・指定席 禁煙 京 都 (市内) 10:05発 - 東 京 (都区内) 12:23着 (運賃加算) (おとな
4名)

| 利用日 | | 単価 | 数量 | 金額 |
|----------|--|---------|-----|---------|
| 基本料金 | | | | |
| 05/18(木) | のぞみ 122号 普通車・指定席 禁煙 京 都 (市内) 10:05発 - 東 京 (都区内) 12:2 3着 (運賃加算) | 55,640円 | 1 | 55,640円 |
| | | | 合 計 | 55,640円 |

領収書等添付表

(平成29年度報告分)

| | |
|-----|---|
| 番号 | ② - / |
| 項目名 | 研究研修費 調査旅費 ・資料作成費・資料購入費・広報広聴費・人件費・事務所費 |

【宿泊代領収書】

No 201705190012

領収書
(RECEIPT)

| | |
|-------------|---------|
| お名前 NAME | 亀甲 義明 様 |
|-------------|---------|

| | |
|---------------|------------|
| 発行日 ISSUED | 2017/05/19 |
|---------------|------------|

| | |
|----------------------|--------|
| 領収金額 BALANCE DUE | 14,000 |
| (上記金額には消費税が含まれております) | |

ドリーミンEXPRESS 浅草
〒111-0033 東京都台東区花川戸1-31-4
TEL 03-3845-1122 FAX 03-3845-1123
http://www.hotespa.net/business/



請求明細書
(STATEMENT)

| | |
|-------------|---------|
| お名前 NAME | 亀甲 義明 様 |
|-------------|---------|

| 部屋番号 ROOM NO | 到着日 ARRIVAL | 出発日 DEPARTURE | 発行日 ISSUED | 宿泊人数 PERSON |
|-----------------|----------------|------------------|---------------|----------------|
| 306 | 17/05/18 | 17/05/19 | 2017/05/19 | 1 |

| 日付 DATE | 摘要 DESCRIPTION | 金額 AMOUNT | お支払 BALANCE |
|------------------------------|-------------------|----------------------|-----------------------|
| 05/18 | チェックイン精算(現金) | | 14,000 |
| 05/18 | 宿泊費 | 13,900 | |
| 05/18 | 宿泊税 | 100 | |
| No. 201705190012 - 043 - 33L | | 利用金額 TOTAL AMOUNT | 支払金額 TOTAL BALANCE |
| ご署名 | | 14,000 | 14,000 |
| 会社名 | | 請求残高 BALANCE DUE | 0 |

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合、按分を必要とする場合は按分率を記載し金額を計算してください。

| | |
|--------------|-------|
| 添付領収書合計 | - 円 |
| 按分率 | (/) |
| 政務活動費で計上する金額 | - 円 |

平成 29 年 6 月 25 日

樫原市議会議長

様

樫原市議会議員 亀甲義明

行政視察研修報告書

このたび、政務調査活動の一環として、行政視察研修をおこなったので、報告します。

記

- ① 視察研修日 平成 29 年 5 月 18 日 (木) ~
平成 29 年 5 月 19 日 (金) [1泊2日]
- ② 視 察 地
東京都品川区
千葉県柏市
- ③ 視 察 課 題
オンデマンド交通 (カシワニクル) の取り組みについて
認知症対策について
- ④ 視 察 内 容
別紙の通り

| | |
|--------------------|---|
| 視 察 日 | 平成 29 年 5 月 18 日 (木曜日) 13 時 30 分 ~ 15 時 00 分 |
| 視 察 地 | 千葉県柏市役所 |
| 担 当 職 員 | 千葉県柏市 土木部交通政策課 副主幹 秦 明生 千葉県柏市 土木部交通政策課 石堀 祐貴 千葉県柏市 土木部交通政策課 中川 万理恵 |
| 視 察 内 容 (成 果) | <p>柏市における オンデマンド交通の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H22 年に柏市総合個通計画を策定 (交通ネットワークイメージ) 4 つのエリアに分割し、交通網整備施策を策定 ※ H18 年に交通調査を実施し、6 か所の交通空白地域・不便地域整備計画 ・ その中で、重点整備地区 (沼南地域) でのオンデマンド交通 (カシワニクル) の運行を実施 → 中心駅 (JR 柏駅までの交通が確保されていないので、交通不便は残っている状況 ・ 他の空白地域においては、まだ解消できていない ・ 一部地域には、ジャンボタクシーの運行も実施 <p>〈導入の背景〉</p> <p>生活交通の廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉バス及び民間路線バスの廃止により代替交通としてコミュニティバスを運行 → 平成 22 年度に行われた事業仕分けにおいて「要改善」判定 (近隣市町村における状況でも、収支率が極端に悪く採算がとれていなかった) <p>市域における実証実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京大学大和研究室によるオンデマンド実証実験の実施 ・ 国 (内閣府) の社会還元加速プロジェクトにおいて、ITS 実証実験モデル都市に選定される 「柏市 ITS 推進協議会」 交通部会における取組 → 次世代公共交通システム研究・開発 <p style="text-align: right;">(続 く)</p> |

〈導入前の配慮事項〉

導入時のデメリット及びメリットの検証

- ・オンデマンド交通導入による、既存公共交通への影響
東京大学によるシミュレーション→ほとんど影響が出ない
併せてオンデマンド交通の需要も調査→1日90件の需要もあるだろう
- ・空白地域で新たな交通網が必要かも調査→半数以上が必要
- ・コミュニティバスと同様の結果にならないようにケアマネなどにも周知徹底を図り、利用促進を促す

〈事業スキーム〉

運行計画などの計画

※他自治体で実証段階での不採算などで、頓挫するケースも多い

- ・タクシー事業者と共同の勉強会を開催(10回程度)
→柏市、事業者にとってもオンデマンド交通が必要と認識
→事業での費用対効果も重要
→持続可能な交通及び経費縮減が課題

協議の中で決まったこと

- ・運航委託方式利用者1人あたり1010円を支払うインセンティブ制による委託方式を採用
→事業者
 - ① 営業努力が収入増に直結
 - ② ドライバーのやる気の向上
 - ③ 新たな事業展開の広がり
- 柏市
 - ① 実態に見合った支出による経費削減
- ・歩合制にしたことにより、タクシー会社によるポスティングなども行っている
- ・タクシー会社も厳しい現状の中、新たな取組としてタクシー事業者による将来の自主事業化(1日50人で)

〈運行計画〉

- 会員登録:市内にお住まい、お勤め、通学者及び観光でも利用可能
- 利用予約:1週間前から4時間前まで(午前使用の場合は前日までに予約)
- 平日の移動手段の確保
 - ・月曜から土曜日
 - ・午前8時30分から午後7時
- 料金などは、パンフレット参照

(続く)

乗降場所設置数:約 440 ヶ所(停留ヶ所移動)

※要望があれば停留所も増やす

※コミュニティバスでは、42 ヶ所

→できる限りドアトドアに近いサービスを提供

→面的な運行により地域内全ての住民が利用可能

システム:東京大学オンデマンドシステム

・到着時間を守るサービス及びできる限り乗り合いで、効率的な運行

運行業者の選定:プロポーザル

運行車両:2 台

〈利用状況及び効果〉

・利用者数は増加傾向

・高齢者福祉施設、交通結節点、商業施設の利用が高い

・利用者→区域内の移動手段が確保された

・柏市→支出額削減した

・運行業者→新たな需要の掘り起こしに成功

〈感想〉

人口減少の中、樫原市にとっても移動手段の確保など大きな課題である。

現在でも中心地から離れると交通手段がなく、不便がる地域も多くある。

樫原市も先進的な地域を参考に、樫原市にあった新しい交通手段の構築を考えていく必要がある。



添付資料

柏市におけるオンデマンド交通の取組
パンフレット

| | |
|--------------------|--|
| 視 察 日 | 平成 29 年 5 月 19 日 (金曜日) 13 時 00 分 ~ 14 時 30 分 |
| 視 察 地 | 東京都品川区 |
| 担 当 職 員 | 福祉部高齢者福祉課長 寺嶋 清 福祉部高齢者福祉課 保健医療・認知症対策係長 野間 香保 |
| 視 察 内 容 (成 果) | <p>認知症対策について</p> <p>〈医療ショートステイ事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：要支援 1 以上 ・利用期間：7 日以内 ・医療施設：4 施設 <p>※<u>家族の負担の軽減（家族の支援には有効）</u></p> <p>在宅の要支援・要介護者が、在宅介護が一時的に受けられなくなり、かつ医療行為が必要で介護保険でのショートステイなどのサービスが受けられない場合に、医療施設に入院して医療を受けることのできる事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療行為などで、介護保険制度ではない ・ベッドを先に確保しているわけではなく、協定でベッドの空きがあれば受け入れる（基本空いている前提） ・症状：タンの吸引、床ずれなど通常のショートステイで受け入れられない方（入院をして医療の必要までいかない） ・医師会との連携はできている ・申し込みは、ケアマネなどを通して福祉課へ申請 →病院と連携 ・H28 年度で 8 件の利用あり <p>〈認知症カフェ運営事業補助〉</p> <p>※<u>認知症に対する身近な相談場所</u></p> <p>※<u>同じ立場の方の情報交換場所</u></p> <p>認知症対策を考えるのに、昨年アンケート調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症をよく知ってるとの回答も少なく、なんとなくわかるが… ・高齢者自身が認知症ではないかと不安になる <p style="text-align: right;">(続 く)</p> |

- ・家族が認知症ではないかと不安になる
不安はどこからきているのか
- ・認知症を理解していない
- ・どこの相談に行けばいいのか

医療機関連携型認知症カフェ運営補助

品川区内 13ヶ所で認知症カフェ

- ・月 1 回の開催 窓口のみでも可、勉強会及び後援会で→補助金
- ・13ヶ所の内、2つの医師会があり各医師会に 1ヶ所医療連携型(直ぐに病院につなげられる専門的な相談ができる施設)施設を設置

<認知症早期発見・早期診断推進事業>

初期集中支援チーム・初期集中評価委員会

認知症初期集中支援チームの設置

→医師会と相談の上、専門員・看護師・福祉職で構成
支援対象者

・40 歳以上、在宅生活で認知症が疑われる人、または認知症の人でいずれかの基準に該当する人

※医療・介護サービスを受けていない人、または中断している人

※医療・介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状により対応に苦慮している

→6 か月間の訪問支援(支援方針決定)

→2 か月間のモニタリング

→かかりつけ、スタッフにつなげる

H29 年 9 月 認知症初期集中評価委員会の設置

認知症初期集中支援チームの活動内容を評価、今後の課題を検討する評価委員会を設置

・委員会は、医師会、歯科医師会など

効果を生むと考えられる運営内容(予測)

・医療・介護の専門領域の視点から、問題点・支援方法を明確にすることが出来る

・チームで行うので、ケースの抱え込みがなくなる

・身近な地域で取り組むため、チーム員の顔が見え、情報共有が図りやすい

・地域の実情を踏まえたケースの掘り起こしとなり、地域支援者の負担増になる恐れがある。しかし、根本的に認知症の早期発見できれば、早期対応へつなぐことが可能である

・認知症初期集中支援評価委員会について、チーム外の専門職が入り

中チーム活動内容の情報共有を行う事で、支援方針の確認および地域へのつながりが円滑になる

〈認知症高齢者グループホーム家賃助成事業〉

助成対象

- ① 利用者が、世帯全員が区民税非課税世帯に属し、本人の前年合計所得金額が課税年金収入の合計が 120 万円以下
- ② 申請のあった日の属する年度の前 2 年度において、介護保険料の滞納が無い事

助成金額

・1 ヶ月 24,000 円を助成

※本人に直接助成するのではなく、事業者に助成する
(本人に助成すると対象にならない)

※予算は、介護保険の任意事業

利用者

・90 件

・施設に入所するのに 17,8 万円程度かかる、その内 24,000 円の補助
(一般的に 14、5 万円が施設に入るボーダーラインと思われる)

〈特色ある施策〉

・特養は、直接施設でできない

→区役所に申し込む(区役所で年 2 回、調整会議を実施)

→優先順位を決めて名簿化

→各ホームに情報を流す

※基本はホームからの入所のお願いはできない(調整はあり)

・施設のリストから利用者が施設を選択

※優先順位が高くても、希望の施設の空きがなければ入所はできない

〈徘徊高齢者早期発見ネットワーク〉

品川くるみ高齢者見守りネットワーク

・品川くるみ高齢者見守りアイテム(3 点セット)

① アイロンシール※施設のアルファベットと登録番号

② 靴反射シール

③ キーホルダー

登録された見守りアイテムを付けた認知症高齢者の行方不明時の早期発見のため、品川区内警察署から夜間休日見守りアイテム記載番号の電話照会対応

(続く)

実績

アイテム登録件数(H28年9月～H29年5月):92件

発見4件

・24時間対応できる体制になっている

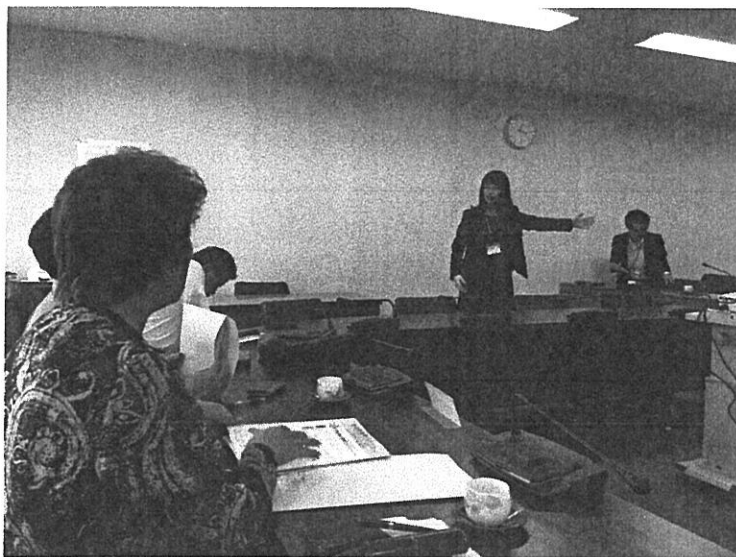
〈感想〉

今後、榎原市においても高齢者が増加し、認知症対象者も増加すると思われます。

早期発見、早期治療の観点からも体制整備が急務であり喫緊の課題であり、認知症の理解も深めていく体制整備も重要である。

また、対象者や家族など相談体制などの充実もしていかないといけない。

認知症など身近で相談体制（相談内容も色々）の充実を図っていかないといけない。



添付資料

認知症高齢者のケア拡充
品川くるみ認知症ガイド
品川区の介護保険